

一般質問



門馬まりえ 議員

こども園を拠点とした取り組みは

町長／保育・教育の質の向上や連携に取り組み

門馬

建設中のこども園は、広野の将来に「希望」という姿が見えてきます。

子どもたちの各年代にあった教育目標をもち、安まに安心したサービスの提供が求められることとなりますが、
①認定こども園開設にむけて職員等の研修について伺います。
②小学校就学前の連携等についての検討もされているのか。

町長

①経験年数、担当する子どもの年齢等を考慮した研修に参加し、レベルアップや保育・教育の質の向上に取り組みんでいます。
また、開園後の状況を捉え、必要な研修を継続していきます。
②広野幼稚園・広野小学校接続プランに基づき幼小連携事業に取り組みしており、認定こども園と小学校の連携についても、計画的に取り組みます。

子育て支援

今後の利用はどのようか

町長／年内に具体的な活用方法を決定していく

渡邊

認定こども園の開園に伴い、現在の幼稚園舎をどのように有効活用されるのか取り壊し等も考えられているのか伺います。

町長

①町内有識者からなる広野幼稚園舎有効活用検討委員会を組織し、歴史ある広野幼稚園舎を地域の意向、ニーズに配慮した新しいコミュニティの場とする方針のもとに協議をしてきました。
広野町総合教育会議において、年内のうちに、教育委員の方々と共に具体的な活用方法を決定していきます。

幼稚園舎



渡邊正俊 議員

町民バス

さらなる利用向上への対応策を町長／利用しやすくなるよう改正する

門馬

町民帰還が着実に進み、住環境にも変化がでていると考えます。町民バスの運行時間や、路線にもよると考えますが、
①町民バスの利用者数についてどのような状況になっているのか。
②今後の町民バスのさらなる利用向上への対応策を伺います。

町長

①11月末までの利用者数は7676人で、昨年の同時期と比べ、3798人増加しています。
②移動手段のない高齢者の方々が利用しやすいよう、停車地や時刻表の改正を行います。
主な改正は、各コースから乗車し、役場で乗り換え、医療機関や二ツ沼公園を廻る新しいコースで、実証を兼ねて来年1月から3月まで、現行の町民バス時刻表を変更せず、町ワゴン車で役場から医療機関などへ運行し、平成31年度の実施に向け取り組んでいきます。



医療機関や二ツ沼公園を廻っています！（実証中の町ワゴン車）

高齢者福祉

現在の状況は、また今後の取り組みは町長／連携できる仕組みを構築し環境づくりに努める

③認知症を患う人が増加することが心配されます。町の認知症対策としての現状と、今後の取り組みについて伺います。

町長

①高齢化率は、30・4%です。
今後、人口の増減に繋がる社会的な要因がないと仮定した場合、平成37年における高齢化率を33・9%と見込んでいます。
②ひとり暮らし高齢者、寝たきり等により通常の行動が著しく困難な方に、「生きがい活動支援通所サービス事業」「外出支援サービス事業」等を実施、また要介護状態になるおそれのある高齢者に、「生きがい事業（ミニデイ）等」を実施していま

す。
介護保険サービスの給付状況は、計画値の約90%程度の実績を見込んでいます。
③「認知症カフェ」、「認知症サポーター養成講座」を開催し、「身元確認専用QRコード事業」「認知症見守りGPS購入等助成事業」等を実施しています。
今後は、「地域医療と介護保険」の連携できる仕組みを構築し、環境づくりに努めていきます。

渡邊

①広野町の現在の高齢者率と今後の推移見込等を伺います。
②高齢者を対象としたサービスの状況と介護サービスの利用状況を含めて伺います。



認知症サポーター養成講座（中学校）

一般質問